

京都市内中心部の混雑緩和に資する大原・八瀬、鞍馬・貴船など周縁部への観光客の分散化を目指したMaaS実証実験

京都市中心部に集中する観光客の分散を図るため、デジタルフリーパスの販売やシェアサイクリングの実験導入、観光施設や飲食店、宿泊施設等の情報発信などの施策を通じて、京都市周縁部への観光客誘客に関する検証を実施する。

協議会の 構成員	【幹事】京阪ホールディングス(株)、京都市、(公社)京都市観光協会、叡山電鉄(株)、京都バス(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)ドコモ・バイクシェア、(株)ドコモ・インサイトマーケティング、京都大原観光保勝会、貴船観光会、八瀬叡山保勝会、出町桝形商店街、京阪電気鉄道(株)、京福電気鉄道(株)、京都タワー、(株)ホテル京阪、京阪ホテルズ&リゾート(株)、国土交通省近畿運輸局、国土交通省近畿運輸局京都運輸支局		
地域課題	● 京都市内中心部への観光客の集中による、洛北エリアへの観光客の少なさ ● 洛北エリアへの観光客の、年齢層や訪問エリア、訪問する時間帯の偏り		
● 取組の 概要	期間	2020年10月27日～2021年1月31日	
	エリア	京都府京都市左京区洛北エリア（大原、八瀬、貴船、鞍馬、修学院、一条寺、出町柳等）	
	MaaSシステム	JR東日本が提供する「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を基に、MaaS Webサイト「奥京都MaaS」を独自に構築	
	交通サービス	● 鉄道や路線バスのデジタルフリーパスの販売 ● 鉄道のリアルタイムな位置情報が確認できる地図の提供 ● 登録した交通系ICカードで開錠して利用できるシェアサイクリング「ドコモ・バイクシェア」の実験導入	
	交通以外のサービス	● 飲食店等で利用できるデジタルチケットの販売 ● 観光施設等のクーポンの配信 ● QRコードを活用したデジタルスタンプラリーの提供 ● 観光テーマ・エリアにもとづく観光施設の検索機能の提供 ● 訪問する観光施設やその滞在時間、移動に利用する交通機関などを設定できる、旅行の行程管理機能の提供 ● 新型コロナウイルス対策情報の発信 ● 観光施設の位置情報や混雑状況を確認できる地図の提供 ● 滋賀県大津市のMaaSアプリ「ことことなび」や、「JR東日本アプリ」上での本実証事業の告知	
検証内容	● 観光客の年齢層、訪問エリア、訪問する時間帯の分散化の検証 ● 乗換アプリで時間距離が遠く表示され、選ばれない周縁部への誘客の検証 ● シェアバイク等ラスト1マイル交通普及による大原エリアの観光活性化の検証 ● JR東日本との連携による、首都圏から洛北エリアへの誘客の検証		

取組イメージ	
MaaSアプリを通じて提供しているサービスのイメージ	
鉄道・路線バスのデジタルフリーパス	飲食店等のデジタルチケット
地図機能	デジタルスタンプラリー
検証結果	
● デジタルフリーパス購入者は20・30代男性の参加(5割)が多く、ひとり旅(5割)も多かった。従来の京都観光のボリューム層が団体の40～60代女性であることから、性別、年齢層の分散化に一定の効果があった。 ● Webサービス利用に関するアンケートでは、タビマエに「予定していなかった旅に出ることにした」が3割、「京都旅行での訪問先に複数の洛北エリアを追加した」が2割の回答があり、乗換アプリを正確に分かりやすく表示することで、周縁部への誘客に繋げることができた。 ● 大原エリアでシェアバイク事業を実施し、8日間で83台(うち1日は雨で0台)の利用あり。1台あたり平均利用時間が181分と従来より滞在時間が増大し、エリアの活性化に寄与した。 ● デジタルフリーパス購入者の5割が首都圏の居住者であったことから、JR東日本との連携で首都圏の誘客に効果があった。残り4割は関西圏居住者。	
今後の方向性	
● デジタル乗車券等により「移動」を便利にすることはもちろん、観光情報の拡充や乗車券以外の機能(宿泊・飲食他)で行動変容をもたらし、更なる「移動」の魅力化によりICTを活用した移動促進を図る。又、京都市内の他のエリア、他の交通事業者との連携を模索し、より広範囲で多様なサービス提供を目指す。	